

第14回銘柄ポーク好感度コンテスト、最優秀賞に「甲州富士桜ポーク」が輝く

東京ビックサイトで開催された食肉産業展の特別イベント「銘柄食肉好感度コンテスト」で、山梨食肉流通センターで扱っている「甲州富士桜ポーク」が最優秀賞に輝いた「甲州富士桜ポーク」（山梨県）は、ランドレース種と大ヨークシャー種の F1 雌豚に、山梨県畜産試験場が開発したデュロック種とバークシャー種の合成系統豚（フジザクラ DB）の雄を交配して生産する豚で麦類が 20%以上含む専用飼料を与え、銘柄認定基準に合格した枝肉だけが甲州富士桜ポークとなる。肉質はキメが細かく柔らか、風味豊かでくさみはなく、口の中で溶けるさっぱりとした脂肪が特徴となっている。甲州富士桜ポーク生産組合の深田真組合長は「多くの銘柄豚がある中で大変名誉なことと喜んでいる。甲州富士桜ポークは今回、適度な脂の量とその質が評価されたと思う。今後も消費者ニーズに合った豚肉を供給したい。安全・安心、新鮮で美味しいものを供給しないと量販店で売られる安い外国の豚肉などに勝てず、そうした点をアピールしていきたい」と述べた。

【銘柄ポーク好感度コンテスト】

賞	団体名	銘柄豚
最優秀賞	山梨県銘柄豚普及推進協議会（山梨県）	甲州富士桜ポーク
優秀賞	オリーブ豚振興会（香川県）	オリーブ豚
優良賞	（有）タローファーム（長野県）	信州太郎ぼーク
特別賞	（株）サイトウミート（宮城県）	島豚 KAZUGORO
	群馬県食肉品質向上対策協議会（群馬県）	群馬の黒豚 ”とんくろ〜”
	岩手中央農業協同組合（岩手県）	アイコーブ豚
	（株）ミヤチク（宮城県）	おもい豚
	つなんポーク（新潟県）	越ノ光ポーク

食肉速報 平成28年4月18日掲出

